

第 1 回有識者会議資料

目次

1. 有識者会議の位置づけ・目的
2. 第1回会議次第
3. 岡山城西の丸の概況
4. 岡山城主要部跡地整備方針
5. 岡山城西の丸周辺広場整備について
6. 烏城公園石山地区整備・
岡山城西の丸活用検討
7. 西の丸の現況写真
8. 烏城公園石山地区整備イメージパース
9. 岡山城西の丸の歴史概要
10. 造営前の西の丸の地
11. 江戸時代の西の丸
12. 明治時代～平成前期の西の丸
13. 平成中期からの西の丸



有識者会議の概要



岡山城西の丸の概況



岡山城西の丸活用検討 までの経緯



岡山城西の丸の歴史

1.有識者会議の位置づけ・目的

【位置づけ・目的】

- 岡山城西の丸の活用案を検討するにあたって、岡山城西の丸の歴史・価値、活用の方向性、求められる機能・施設等についてご意見をいただくことを目的とする。

【今後の予定】

- 有識者会議の開催は3～4回程度を想定しており、各回の報告事項と意見交換内容は以下の予定である。

	開催時期	報告事項	意見交換内容
1回目	6月30日 (本日)	・西の丸の概況 ・西の丸活用検討までの経緯 ・西の丸の歴史	・西の丸の歴史・価値とは何か、岡山市民にとってどんな場所か ・西の丸はこれから、こういった場所になっていくとよいか
2回目以降	今後決定	・岡山城一帯の現況調査 ・法規制、計画条件等調査 ・他都市事例調査 ・既存建物調査 ・地元説明会、ワークショップなど	・岡山城一帯の現況や他都市の調査等を踏まえ、西の丸にあったら良いもの、不足しているものは何か ・西の丸の活用の方向性について ・西の丸に整備する機能・施設の候補や既存建物の取扱い等について

2.第1回会議次第

日時 令和8年6月30日（火） 13時30分～15時

会場 岡山市役所3階第三会議室

①岡山城西の丸の概況

②岡山城西の丸活用検討までの経緯

③岡山城西の丸の歴史

④意見交換

○岡山城西の丸の歴史・価値とは何か、岡山市民にとってどんな場所か

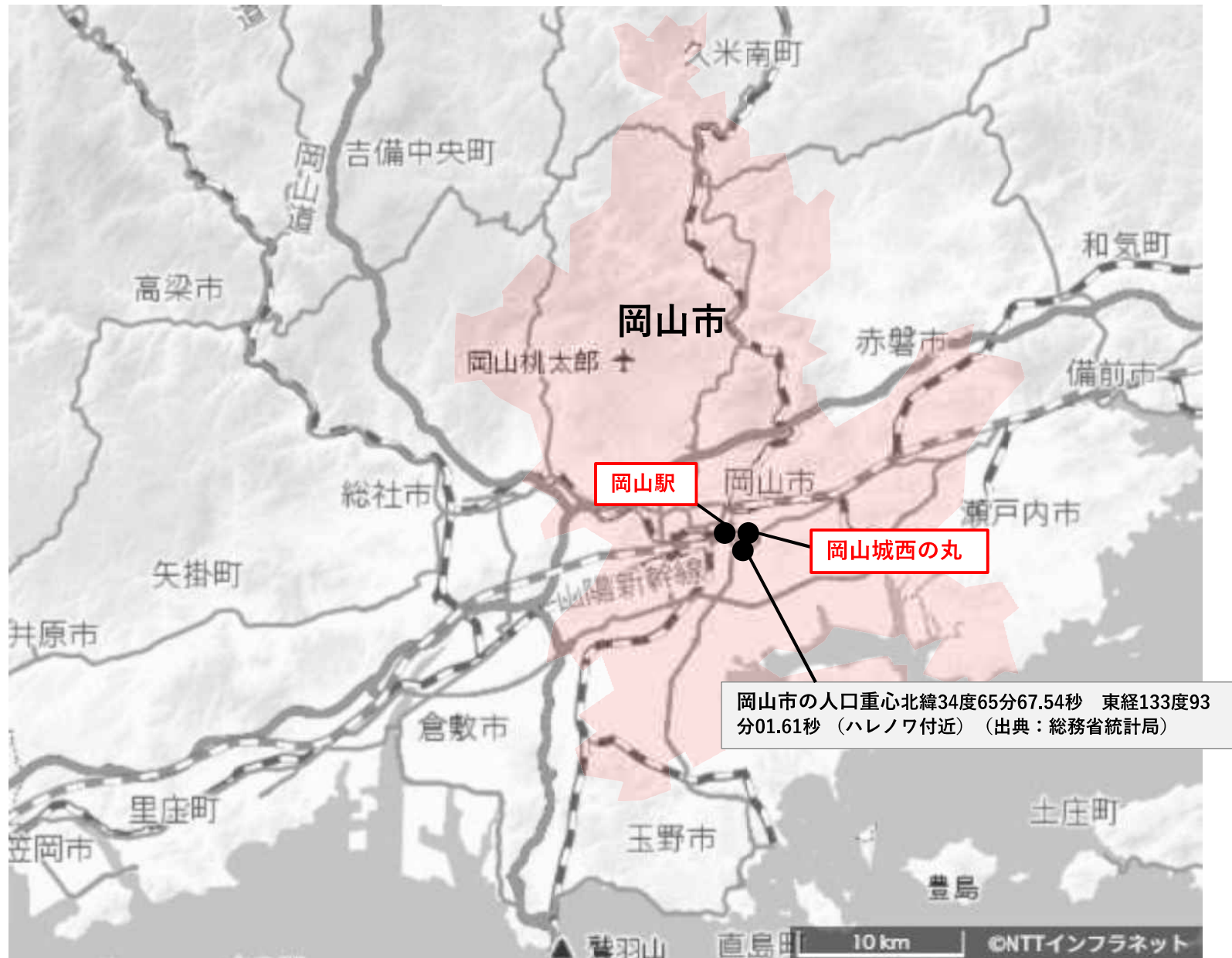
○岡山城西の丸はこれからどういう場所になっていくとよいか

⑤まとめ・閉会

岡山城西の丸の概況

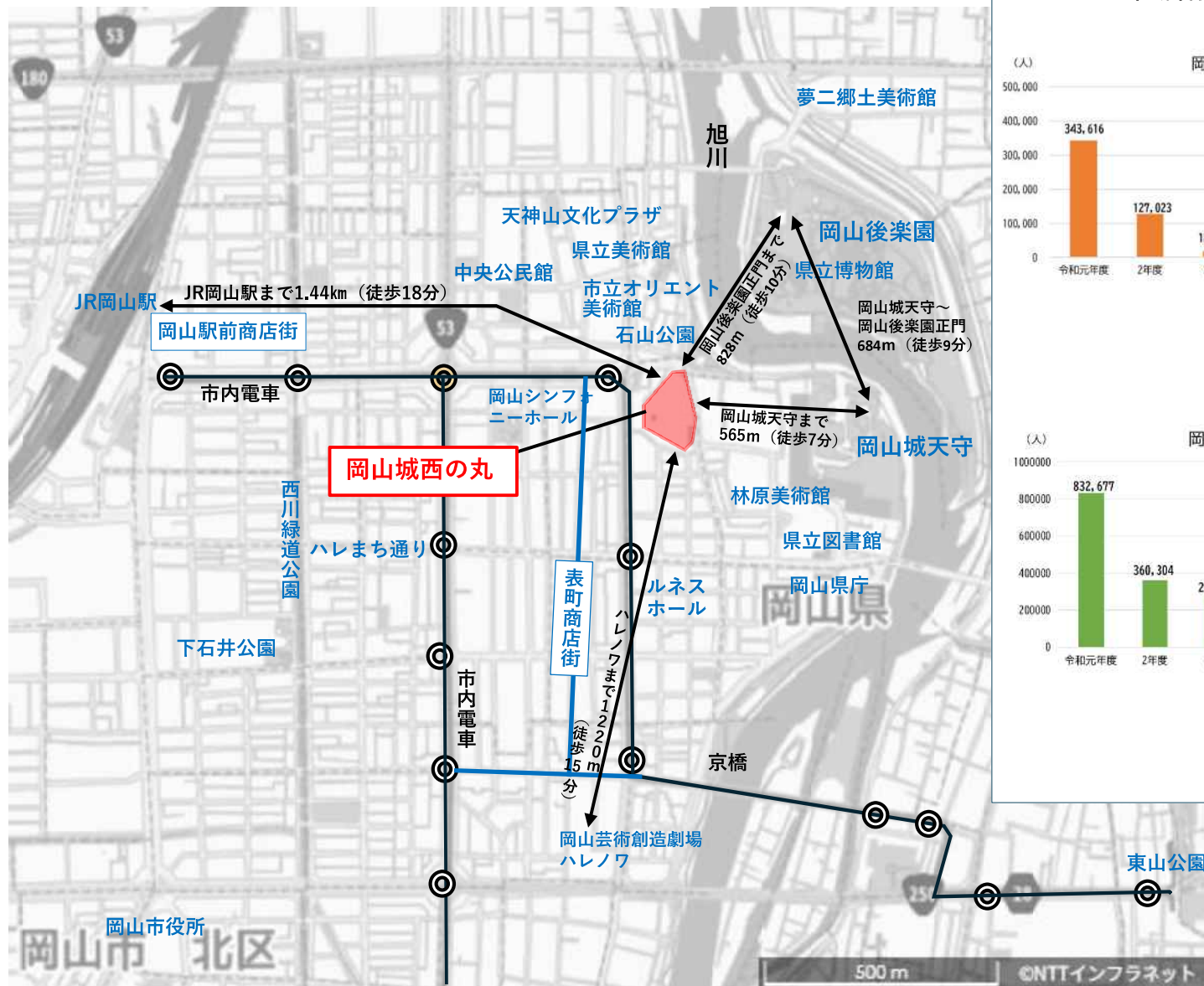
3.岡山城西の丸の概況

岡山市域における岡山城西の丸の位置図



3.岡山城西の丸の概況

中心市街地における岡山城西の丸の位置図



(参考) 岡山城・岡山後楽園の
来場者推移(外国人・日本人)



出典：岡山市観光振興課



出典：岡山県都市計画課

3.岡山城西の丸の概況

岡山城西の丸の概観



岡山城西の丸
住所：岡山市北区丸の内一丁目2-12
敷地面積：13,927.00㎡ 建築物延床面積：6,117.30㎡



①東側から



②北側から



③南側から（石山門跡）



④西側からと西手櫓



⑤グラウンド・校舎



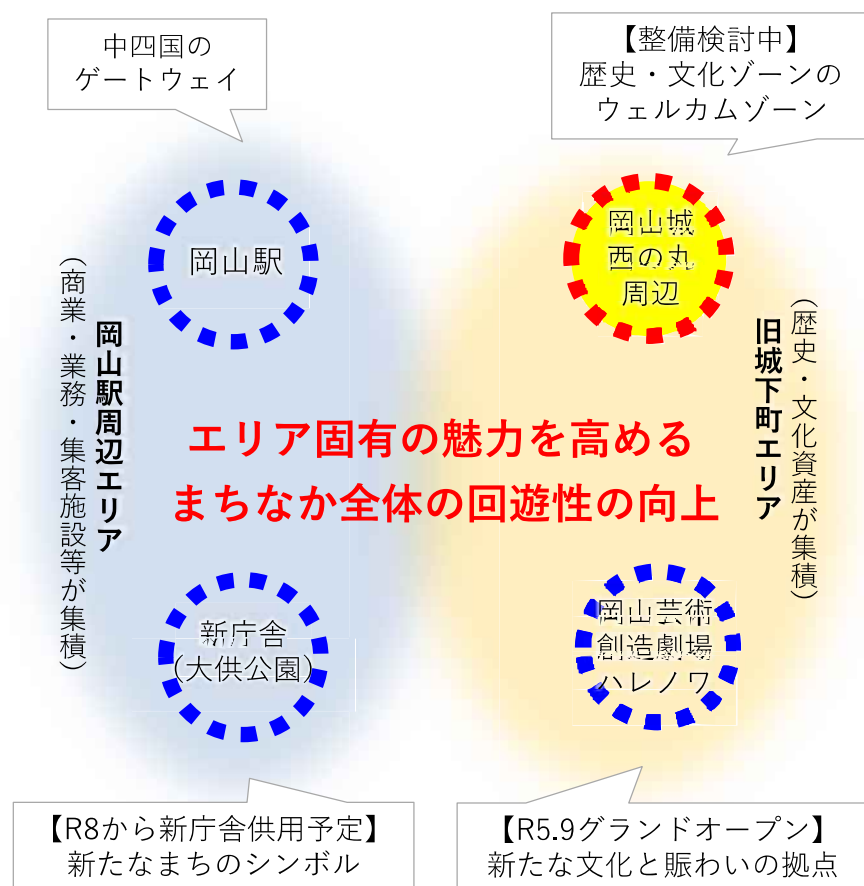
⑥庭園跡

岡山城西の丸活用検討までの経緯

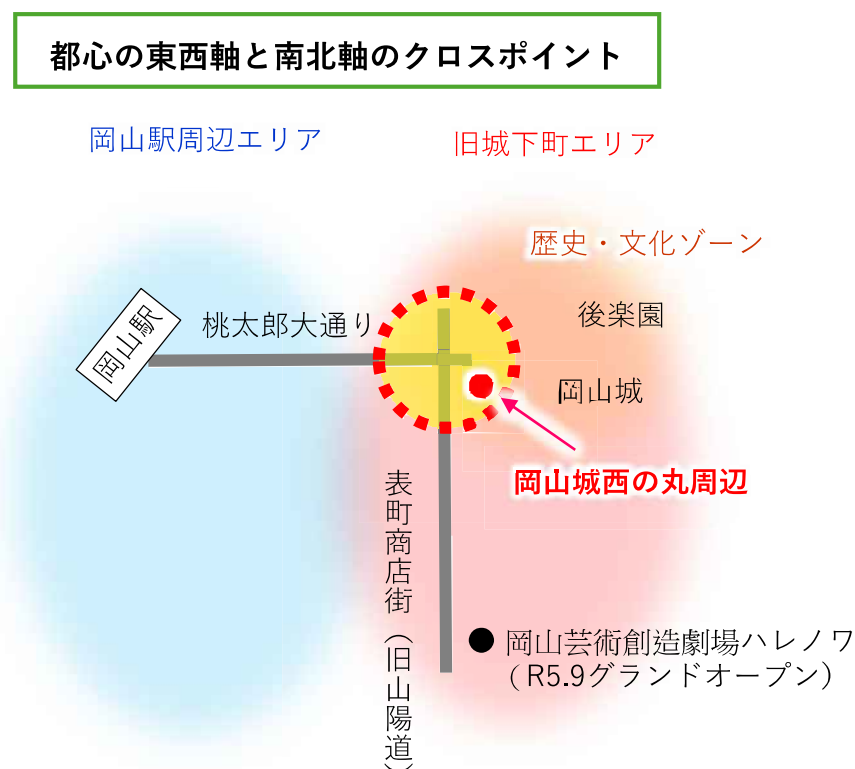
4.岡山城主要部跡地整備方針（R5.3） ①岡山城西の丸周辺の位置づけ

- 岡山市の中心市街地は、「JR岡山駅周辺エリア」と「旧城下町エリア」の2つの核で形成され、西の丸周辺は、歴史・文化ゾーンのウェルカムゾーンと位置づけ。
- また、都心に憩いと賑わいをもたらす水と緑の空間である旭川河畔に隣接した貴重な土地であり、東西軸と南北軸のクロスポイントに位置しており、都心全体の回遊性を向上させるポテンシャルを有した空間となっている。

▼ 岡山市中心市街地のビジョン



▼ 岡山城西の丸周辺の位置づけ



4.岡山城主要部跡地整備方針（R5.3） ②岡山城西の丸周辺の整備方針

- 岡山城の城郭内に位置する3か所の市有地「旧内山下小学校跡地、岡山市民会館跡地、旧NHK岡山放送会館跡地」について、整備方針を策定

整備の考え方

歴史・文化をいかした憩いと賑わいの拠点となるオープンスペース（公園）を整備
（防災機能を備えたスペース）

機能と主な整備内容

機能

歴史・文化

憩い

賑わい
（活動・交流・観光）

防災

主な整備内容

オープンスペース （公園）

- ・ 様々な人が憩い、思い思いに活動・交流できる緑の広場
- ・ 規模の大きなイベントも可能な賑わいのスペース
- ・ 旭川河畔や石山公園との連続性を考慮

歴史修景

- ・ 西手櫓等の遺構の視認性確保と保存活用
- ・ 整備施設は歴史景観に配慮

便益施設

- ・ オープンスペースの憩いや賑わいを向上させる飲食・物販等の施設
- ・ 駐車場

多目的施設

- ・ 集会やイベントなど多様な活動・交流が可能な屋内スペース

防災施設

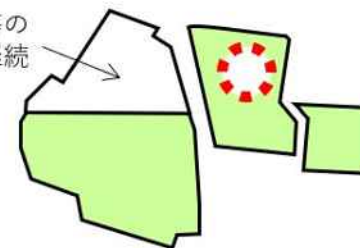
- ・ 防災備蓄倉庫（多目的施設内）
- ・ 避難場所（オープンスペース、多目的施設等を活用）

施設の位置

- 便益施設、多目的施設・防災施設の整備位置は、岡山城の遺構を考慮し、岡山市民会館のエリアを基本とする。

※ 旧内山下小学校校舎等のエリアについては暫定活用を継続し、オープンスペースの利用状況等を勘案しながら、改めて取扱いを検討する。

当面、校舎等の
暫定活用を継続



5. 岡山城西の丸周辺広場整備について (R6.5) 岡山城西の丸周辺のゾーニング

- ・ 規模の大きなイベントも可能な賑わいのスペース
- ・ 災害時の一時避難スペース
- ・ 駐車場 (一部)



- ・ 旭川河畔や石山公園とイベント等において一体的な利用も可能なスペース
- ・ 便益施設等の配置は、石山公園等との連続性や岡山城天守の視認性を考慮
- ・ 市民会館のメモリアル



石山公園

旭川河畔

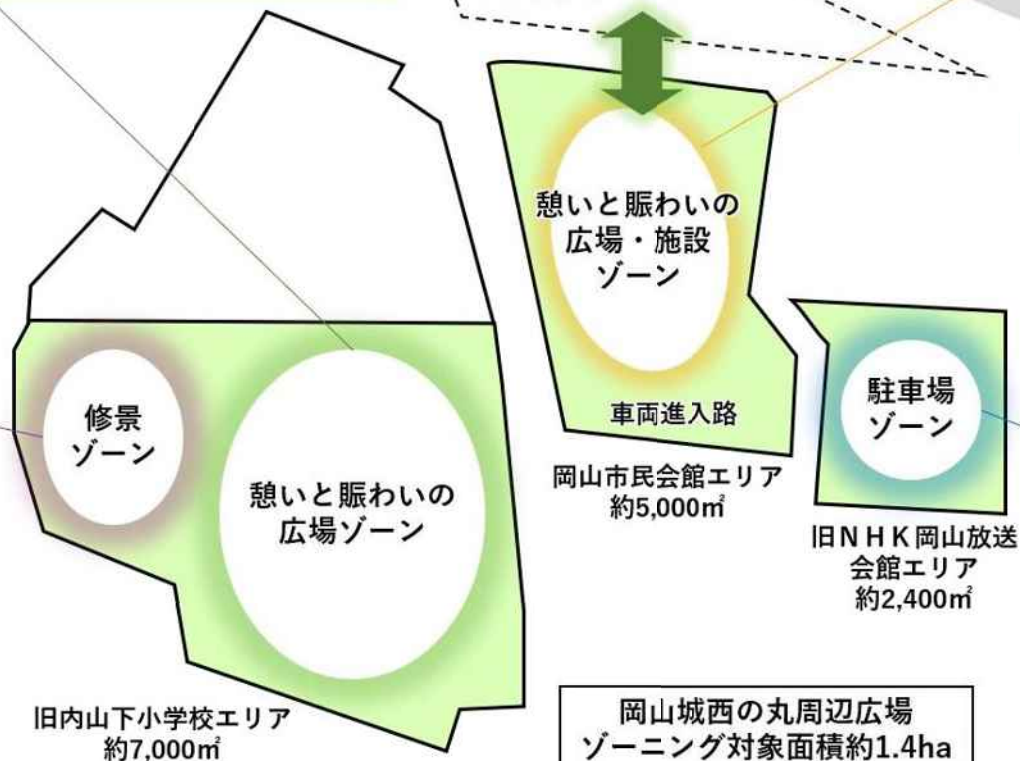
- ・ 岡山城の歴史性を感じられる空間
- ・ 西手櫓の視認性確保
- ・ 庭園の遺構の保存活用



西手櫓
(国指定重要文化財)



西の丸御殿の庭園遺構



- ・ 岡山城天守の視認性や石垣の存在を考慮しながら駐車場等を配置



岡山城天守

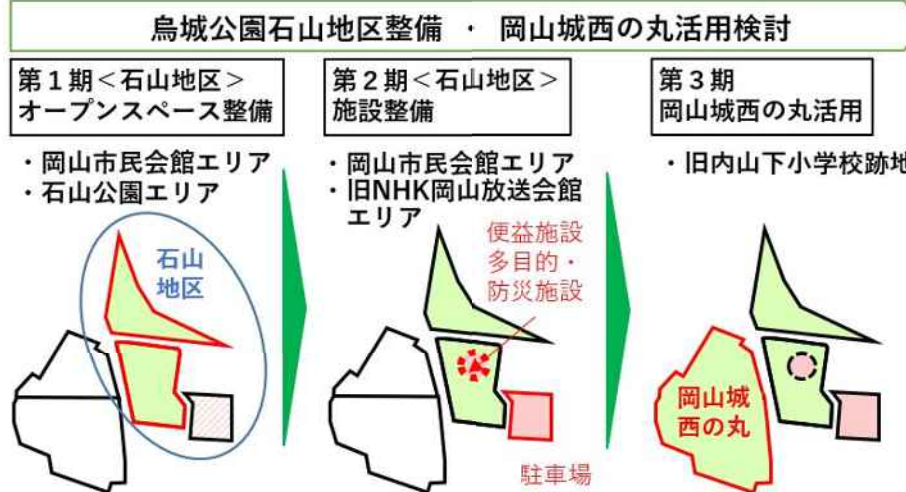


石垣(国指定史跡)

6. 烏城公園石山地区整備・岡山城西の丸活用検討（R8.2）

魅力と賑わいあふれるまちなかの創出に向け、岡山城一帯では、歴史・文化を活かしたまちづくりを進めています。烏城公園の石山地区は、「歴史を感じる憩いの広場」をコンセプトに令和7年度から設計・整備に着手しています。魅力・賑わい拠点の更なる充実のため、旧内山下小学校校舎等エリアを含む岡山城西の丸活用の検討を開始します。

エリア		令和7年度	令和8年度	令和9年度～
石 山 地 区	第1期 オープン スペース整備	解体工事 オープンスペース の設計	オープンスペース の整備	オープンスペースの供用
	第2期 施設整備	旧内山下小学校校舎等エリア 旧NHK岡山放送会館エリア 便益施設や駐車場を 整備運営する民間事業者 の募集要項作成～公募	便益施設や駐車場の 設計～整備	便益施設や駐車場の 供用
西 の 丸	第3期 西の丸活用	旧内山下小学校跡地 旧内山下小学校グラウンドエリア 旧内山下小学校校舎等エリア 岡山城西の丸 活用検討	庭園遺構等 の発掘調査	設計～整備 供用

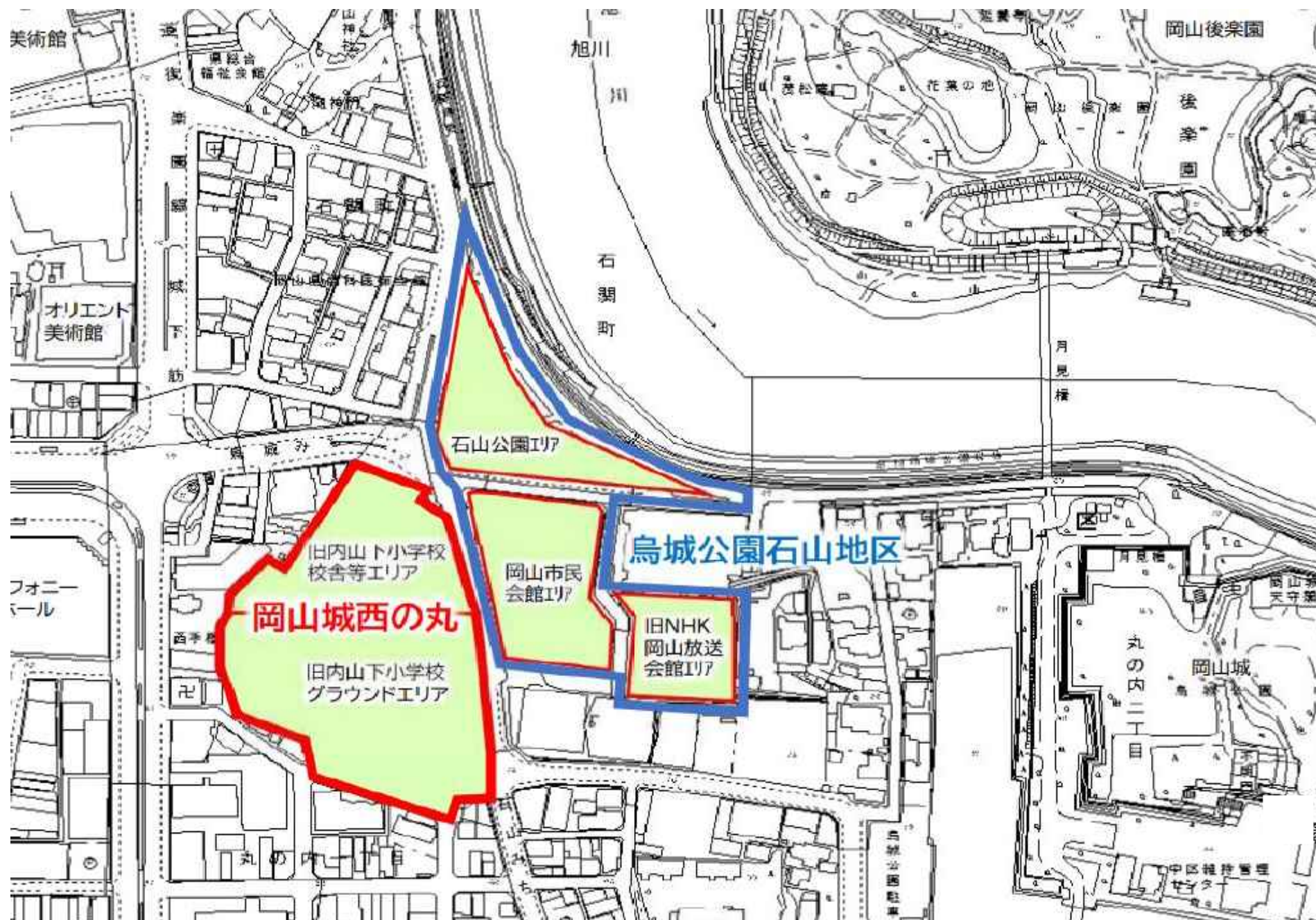


長期

岡山城一帯

憩いや賑わいなどの
機能充実を面的に
図りながら、歴史・
文化資源をいかして
いく

6. 烏城公園石山地区整備・岡山城西の丸活用検討 (R8.2)



7.西の丸の現況写真

グラウンドエリア



校舎等エリア（校舎・体育館）



- グラウンドは、公的行事や地元の行事等での暫定活用を継続中。
- 校舎等の建物は、平成25年度に耐震調査を実施し耐震基準を満たしていないことを確認。令和6年度の建物点検で外壁等の危険箇所が複数確認され、令和7年度から不特定多数が出入りするイベントを中止。

8. 烏城公園石山地区整備イメージパース (R8.4)

全景(イメージパース)



※建物は最大規模を想定して表現しています。
※民間事業者の提案によって、変更になる可能性があります。

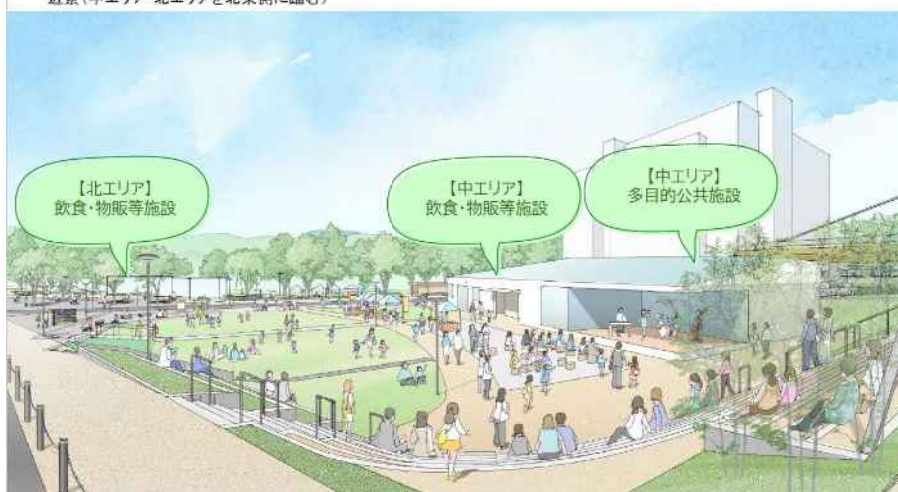
烏城公園石山地区

近景(中エリア・東エリアを東側に臨む)



※建物は最大規模を想定して表現しています。

近景(中エリア・北エリアを北東側に臨む)



※建物は最大規模を想定して表現しています。
※民間事業者の提案によって、変更になる可能性があります。

※Park-PFI等の活用について

- Park-PFI制度等を活用、民間事業者のアイデアやノウハウを活用
- 令和8年4月より飲食・物販等の便益施設の整備や公園全体を管理運営する民間事業者の募集を開始、10月に優先交渉権者を決定

岡山城西の丸の歴史

9.岡山城西の丸の歴史概要

- 宇喜多直家・秀家が城地としていた場所に、江戸時代初期に、政務代行者だった池田利隆が石山の西側に西手櫓とともに曲輪を造営したのが西の丸の始まりである。
- 二百年にわたって、池田光政をはじめ、歴代藩主が隠居後に住む政治的に重要な場所となった。
- 明治維新を経て、岡山医学校・岡山県病院が移転し、その後高等岡山小学校が創立。
- 昭和22年（1947）内山下小学校に改称され、平成前期まで多くの卒業生を生むこととなった。
- 平成13年（2001）の閉校後は後楽館中学校・高校が活用し、また、学校開放事業、市民活動やイベントの場として親しまれてきた。

▼岡山城西の丸の時代に応じたイメージ



10. 造営前の西の丸の地

- 室町時代後期までの岡山は、現在の中心市街地の南西部に藤原摂関家の有力荘園・鹿田荘があったが、拡がりを持つ都市ではなかった。
- **天正元年(1573)**までに、現在の岡山市東部から瀬戸内市一帯を勢力域とする**宇喜多直家が岡山の地に進出**し、城を築いたことで今につながる岡山のまちが始まった（**岡山開府**）。
- 城地は、南東の岡山から北西の天神山に及び、**のちに西の丸が築かれる石山もこの時期に城郭の一角として組み込まれたとされる。**
- 直家はまちの礎を築き、子の**秀家**も**西国街道の付け替えや産業振興など城下町を発展させた。**



備前国図〔慶長年間〕（池田家文庫）より （岡山大学図書館蔵）



（柴岡山光珍寺旧蔵）

宇喜多直家

平野が広がり旭川が貫く岡山の地に着目し進出。一代で備前・美作を領有する大名となり、城下町の礎を築いた。



（岡山城蔵）

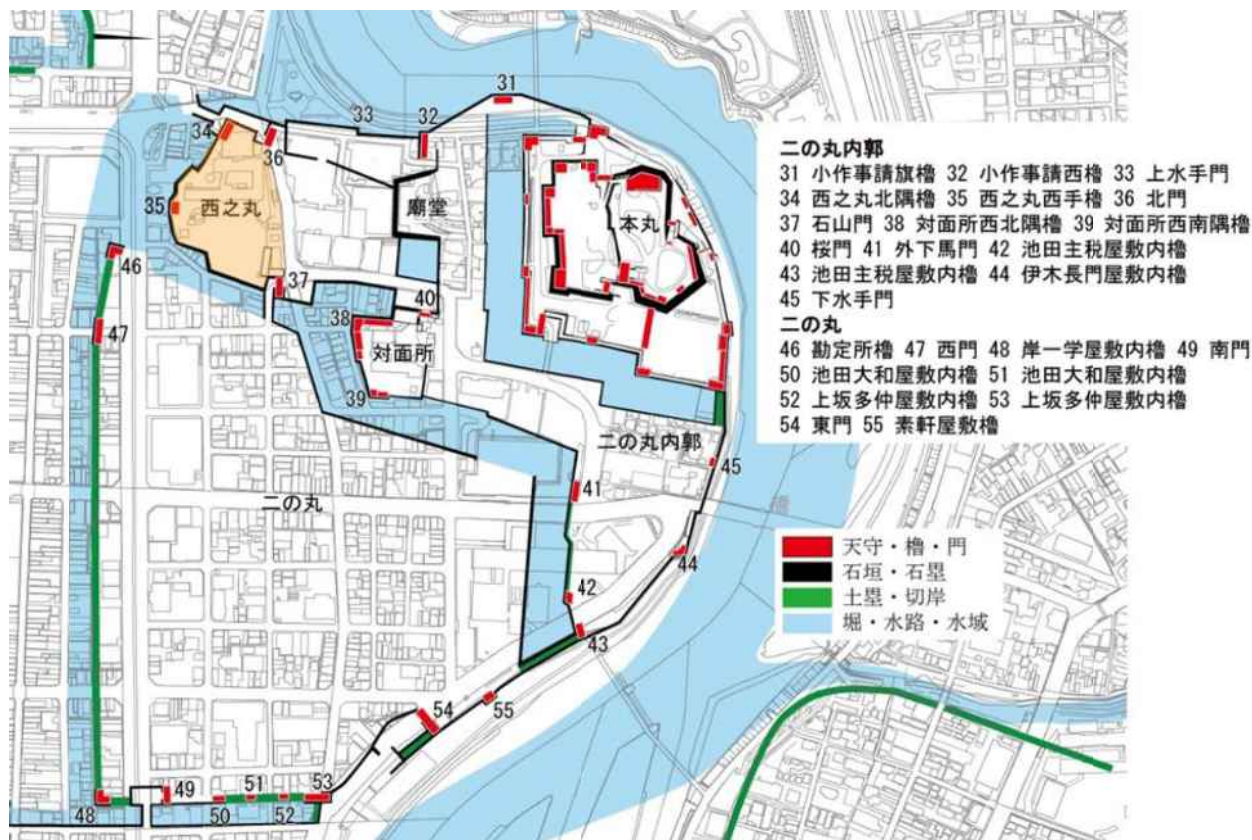
宇喜多秀家

秀吉の天下平定を支えた豊臣五大老。父を受け継ぎ城下町を発展させ、天下人級の岡山城を築城。干拓にも着手した。

11.江戸時代の西の丸

- 関ヶ原の戦いで西軍が敗れたため、主力の宇喜多氏は改易となり、岡山城には小早川秀秋が入封し城郭の整備を続けた。
- その後、**慶長8年(1603)**に姫路城主の池田輝政と徳川家康の娘の子・池田忠継に備前一国が与えられたが、忠継が幼少だったため、異母兄の**池田利隆が政務を代行**した。
- 利隆は藩主ではなかったため、**本丸を避けて石山西側に西の丸を造成し居住**した。**これが西の丸の始まり**であり、**同時期に西手櫓も造営**された。

▼西の丸



二の丸の門・櫓等の配置図

▼鳥瞰イメージ



岡山城鳥瞰復元図 イラスト：香川元太郎
 監修：西ヶ谷恭弘

11.江戸時代の西の丸

- 寛永9年（1632）に池田光政が鳥取から転封し、西の丸に御殿や庭園を造営。寛文12年（1672）に隠居し、移り住んだ。以降、西の丸は幕末まで二百年以上にわたって歴代藩主と家族の隠居後の屋敷となり、岡山藩政における重要な場のひとつであった。
- 昭和8年（1933）、内山下小学校の南校舎建築に伴って藩主隠居の間は取り壊され、現在園池の一部と西手櫓のみを残す状態である。
- 西手櫓は天守に続く形で昭和8年に国宝指定され、戦後は国の重要文化財に指定された。



西御丸御絵図に旧内山下小学校の建造物等を組み合わせた図
（西御丸御絵図（池田家文庫）は岡山大学図書館蔵）

▼北西方面から（岡山医学校と西手櫓）
内堀は蓮が群生している



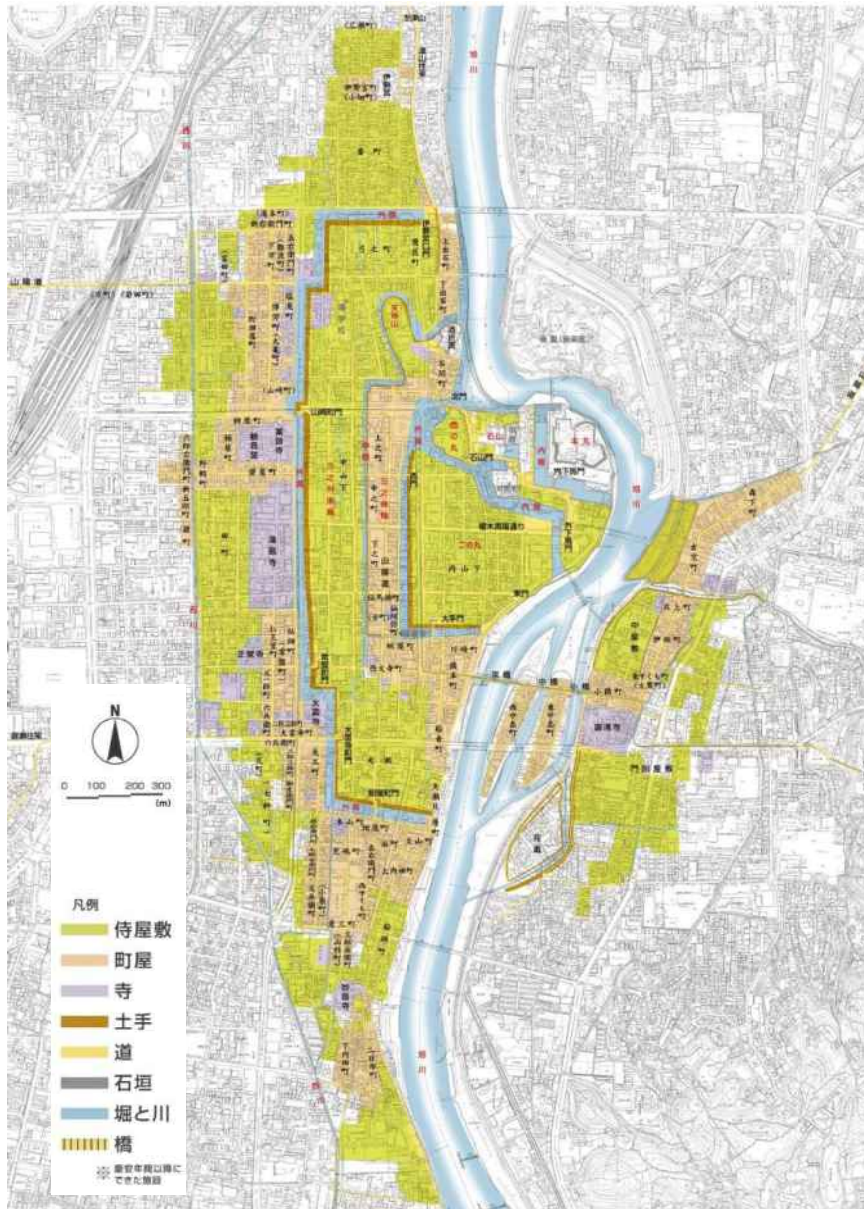
▼隠居の間（右）と西手櫓



▼隠居の間



11.江戸時代の西の丸



岡山シティミュージアム蔵「くらべてみよう江戸時代と現在のまち」より

- 江戸時代、岡山のまちは岡山城を中心に拡大を続けていった。
- 御後園（現在の岡山後楽園）は、元禄13年（1700）の池田綱政の代に外形が完成した。



（林原美術館蔵）

池田光政

人材育成のため、全国に先駆けて藩学校や閑谷学校（庶民の学校）を設立。治水対策、農村整備、医療福祉などに努めた、江戸時代初期の三明君。



（林原美術館蔵）

池田綱政

津田永忠を重用し、財政再建に取り組むとともに、児島湾など大規模な新田開発や、百間川開削、倉安川の治水工事などに取り組んだ。

12.明治時代～平成前期の西の丸

- 版籍奉還により岡山城は一時、兵部省・陸軍省所管となり、**明治17年（1884）**、西の丸では御殿が破却されたのちに**岡山医学校（のちの岡山大学医学部）**が移転した。
- **明治23年（1890）**、岡山城は池田家に払い下げられ、岡山県が借用。国清寺本堂を仮校舎として3年前に創立されていた**高等岡山小学校**が**西の丸に移転**した。
- **明治41年（1908）**、学制改革により尋常科を併設し、校名を**岡山市立内山下尋常高等小学校**に改称した。大正8年（1919）には幼稚園を開園した。

▼明治時代の校舎（明治44年）



【明治41年の尋常科通学区域】

内山下、上之町、中之町、下之町、栄町、紙屋町、川崎町、西大寺町、橋本町、船着町、石関町で通学者約500名。

（内山下小学校創立百周年記念誌より）

▼授業風景（大正4年）



▼授業風景（大正6年）



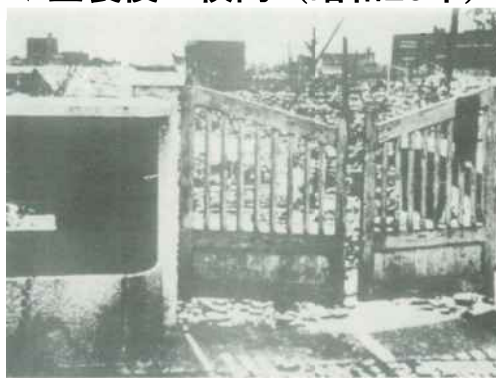
12.明治時代～平成前期の西の丸

- 関東大震災を受けて全国で鉄筋の校舎建設が進む中、昭和8年（1933）に岡山市内初の鉄筋コンクリート造の校舎（第1期）が完成し、翌9年に第2期、昭和12年に第3期が完成した。
- 昭和14年（1939）、戦時体制移行に伴い岡山市内山下国民学校に改称。
- 戦後、岡山市役所が校内に一時期移転。昭和22年（1947）に岡山市立内山下小学校に改称。
- 昭和33年（1958）に小学校卒業生の岸信介総理大臣が来校し、激励の講話を行った。
- 昭和35年（1960）、全国に先駆けて難聴学級を設置した。

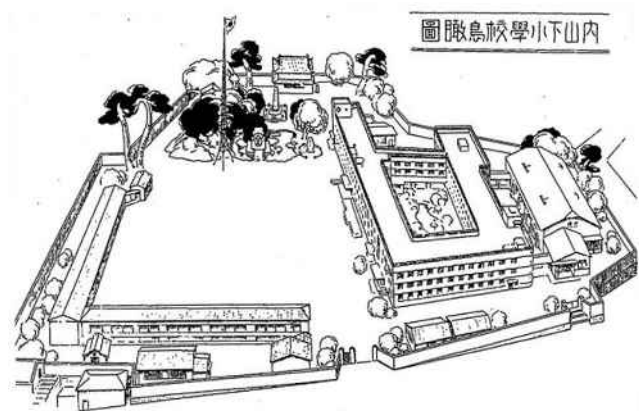
▼新校舎完成直後（昭和12年）



▼空襲後の校門（昭和20年）



▼難聴学級の様子（昭和35年）



▼昭和33年 今日から二学期

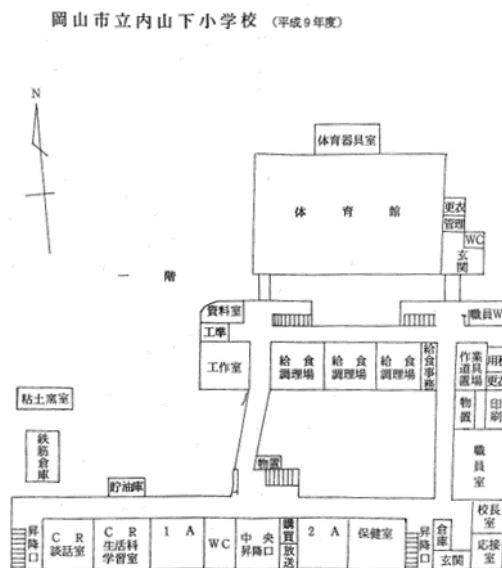
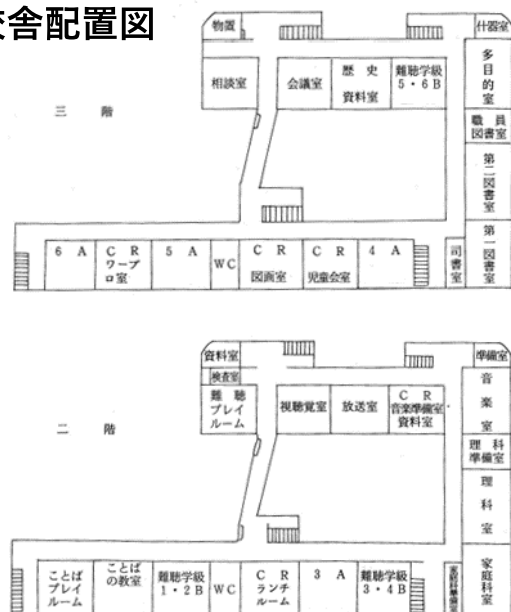


RSK山陽放送公式チャンネル【内山下小学校の記憶】

12.明治時代～平成前期の西の丸

- 昭和38年（1963）にプールが竣工、昭和55年（1980）に体育館が竣工し、昭和61年（1986）に創立100周年記念式典が開催された。
- 平成13年（2001）、中心部の児童減少に伴い、内山下・深柢・出石・弘西・南方の小学校が統合され、内山下小学校は114年の歴史を閉じた。

▼校舎配置図



▼鳥瞰図



▼秋季大運動会



▼夏休み中のプール



▼平成13年 閉校



RSK山陽放送公式チャンネル【内山下小学校の記憶】

13.平成中期からの西の丸

- 内山下小学校閉校後、平成13年度から平成23年度末まで、11年間、**岡山市立岡山後楽館中学校・高校の一部として活用した。**後楽館中学校・高校は、平成24年度（2012）に南方新校舎に移転した。
- 旧内山下小学校は地域の行事や活動でも利用されるとともに、平成21年度から、おかやま国際音楽祭（マチノブンカサイなど）や岡山市芸術祭などに利用された。

▼おかやま国際音楽祭（マチノブンカサイ）



▼岡山市芸術祭



▼おかやま国際音楽祭及び岡山市芸術祭の実績

おもな事業名	開催時期	事業概要	累計来場者数（人）
おかやま国際音楽祭 （マチノブンカサイなど）	2009年～ 2022年	市民団体主催の事業として、マチノブンカサイ、和太鼓に触れるワークショップ、市内高校吹奏楽部のバーチャルコンサートなどを開催。 マチノブンカサイでは、プロのアーティストのライブのほか、ワークショップの開催、飲食屋台の出店など多彩なプログラムで構成された。	約9,500人 （イベント合計）
岡山市芸術祭、 おかやまアーツフェスティバル	2012年～ 2024年	市民団体主催の事業として、校庭でのテント演劇公演、体育館での市民公募や岡山の俳優による演劇公演、フォークダンス、音楽コンサート、校舎内でのパフォーマンスイベントやワークショップなど、多くの団体がイベントを実施した。	推計5,000人以上 （イベント合計）

13.平成中期からの西の丸

- 平成26年度には、**歴史まちづくり回遊社会実験**を行い、ハイコーチャレンジとして、パフォーマンス、飲食等、多数のイベントを開催。以降、3年間実験事業を開催した。
- 令和元年度からは現代アートの祭典・**岡山芸術交流**を開催し、参加型イベント等も開催。
- 令和4年度から3年間は、**おかやま文学フェスティバル**の会場となった。

▼社会実験（ハイコーチャレンジ）



▼岡山芸術交流



▼おかやま文学フェスティバル



▼歴史まちづくり回遊社会実験、岡山芸術交流、おかやま文学フェスティバルの実績

おもな事業名	開催時期	事業概要	累計来場者数（人）
歴史まちづくり回遊社会実験・賑わい創出事業（ハイコーチャレンジなど）	2014年～2017年	内山下小学校跡地を、岡山城・後樂園へのウェルカムゾーンと位置づけ、にぎわい創出を目的に実施。おもにハイコーチャレンジの名称で、のべ開催日数は367日に及んだ。 内容は、カフェ、マルシェ、ワークショップ、講座、トークショー、フォーラム、作品展示、演劇やダンスの公演、コンサート、運動会、練習や創作の場と多岐にわたった。	約34,000人 （4か年合計） ※2014、2016は石山公園でも同時開催(石山分は48,600人)
岡山芸術交流	2016年～	3年に一回、市内中心部で開催する現代アートイベントの会場の一つとして、グラウンド、校舎、体育館、プール等を活用し、プロのアーティストの作品展示や、パフォーマンス、参加型事業やワークショップなどを開催し、期間中多くの来場があった。	約70,000人 （主会場の一つだった内山下小分の2019・2022・2025の合計）
おかやま文学フェスティバル	2023年～2025年	フェスティバルのメイン会場として、全国の出版社や書店が集まる「おかやま文芸小学校」、手作り本の販売会、トークイベント、ワークショップなどの複合イベント「おかやまZINEスタジアム」を体育館や校舎で開催した。	約5,000人 （3か年合計）

【資料取り扱いに関するご注意】

使用している写真や画像は、本資料としての閲覧目的に限り、各所蔵元より使用許諾を受けております。

参加者の皆様におかれましては、本資料中の写真や画像をインターネット上にアップロードしたり、他の方へ転送したりすることのないよう、取り扱いには十分ご留意いただけますようお願い申し上げます。

岡山市事業政策課